

初倉地区保護者アンケートの結果について

1 アンケートを行った時期など

- (1) 時 期 令和3年1月15日(金)から1月22日(金)まで
- (2) 対 象 者 初倉地区に在住の小中学校児童生徒と就学前児童の保護者
- (3) 配布方法 初倉地区各小中学校及び保育園、認定こども園を通じて配布
- (4) 回答方法 回答用紙を学校等へ提出するか、インターネットにより回答

2 回答について

(1) 配布数と回答数について (単位:枚、%)

配布先	配布数(a)	回収数(b)	回答率(b/a)	有効回答数
小学校(初倉,初倉南,湯日)	716	159	22.2	158
初倉中学校	293	44	15.0	43
保育園(初倉,月坂)、みどり認定こども園	343	93	27.1	92
インターネット	—	316	—	316
計	1,352	612	45.3	609

*無効とした回答(白紙2、基本情報未記載1)

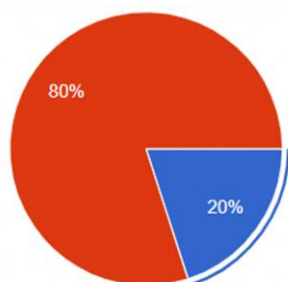
(2) 子供の年齢構成について (単位:人、%)

年齢	人数	パーセンテージ
未就学	279	30.0
小学生1~3年	260	28.0
小学生4~6年	227	24.4
中学生	163	17.6
計	929	100.0

3 アンケート結果から見てきたこと

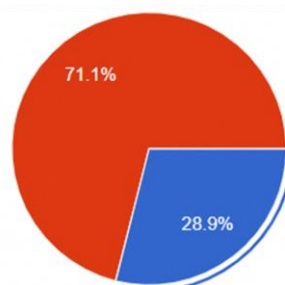
- ・ 回答率は45.3%ですが、兄弟関係を勘案すると68.7%(929人/1352枚)で、保護者の皆様にとって統合問題は大きな関心事であることが伺えました。
- ・ 再編に向けた教育委員会の基本的な方針(設問2①、②)については、3割以下の方しか知らなかったものの、設問2③の「初倉南小と初倉小の再編は、今後も検討を継続すること」を知っている方は81.3%と、関わりのある学校のことについては関心事であったことが伺えます。

設問2① 教育委員会は、「児童数が、一学年当たり概ね20人を下回る場合には、早期に適正規模化を図ること」を学校再編に向けた基本的な方針としたこと。



知っている 20%

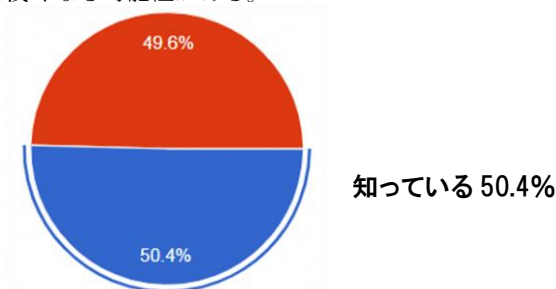
設問2② 教育委員会は、「長期的には、夢育・地育の推進や小中一貫教育等を進めるとともに、島田市の教育の特色づくりが可能となる教育環境を整備していくこと」を学校再編に向けた基本的な方針としたこと。



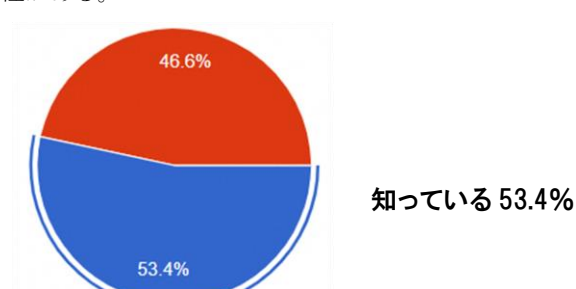
知っている 28.9%

- ・ 統合や小中一貫校のメリット・デメリットについて問う設問3については、③を除き、多くの方に周知できていないことが分かりました。

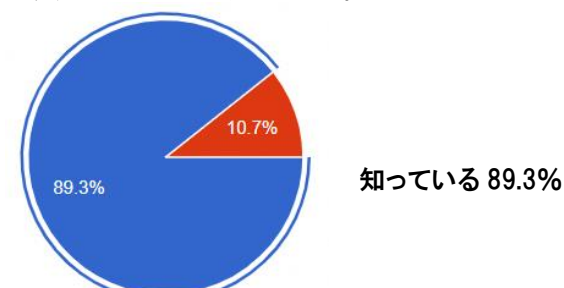
設問3① 統合により児童数が増えると学級編成の自由度が増し、友達関係が広がることで様々な考え方をもちた人と出会い刺激を受ける機会が増えるが、個々の付き合いが浅くなる可能性がある。



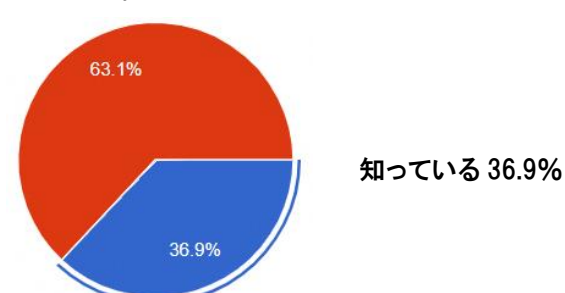
設問3② 統合により児童数が増えることで、大きな集団での生活習慣を習得し切磋琢磨する機会も増えるが、自分のペースで活動する時間や、個人で活躍する場面が減る可能性がある。



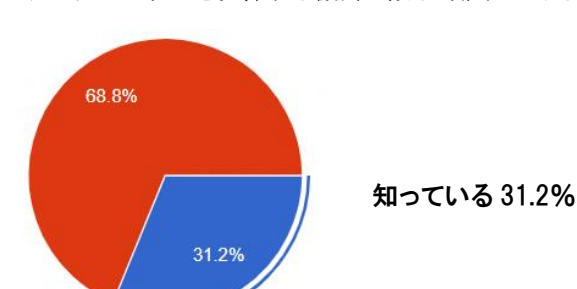
設問3③ 統合により通学距離や時間が短くなる子もいれば、長くなってしまいう子もいる。



設問3④ 小中一貫校では、中学校教員が小学校で授業を行ったり、小中学校間の交流活動や情報共有を行ったりするため、中学進学に対する安心感につながり、新たな環境に適応できない「中一ギャップ」の防止が期待できるが、進学に対する節目の意識が低くなり、進学の実感が弱まる可能性がある。



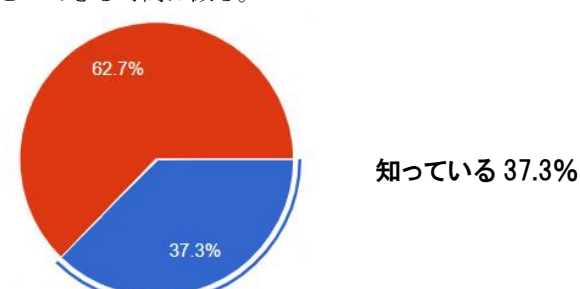
設問3⑤ 小中一貫校では交流活動などで中学生が小学生の面倒をみたり模範になったりするため、中学生は優しさが育ち精神面の安定が期待できるが、小学6年生にとってはリーダーシップを発揮する機会が減る可能性がある。



設問3⑥ 小中9年間の長期的な視点で独自のカリキュラムを組むことができるので指導や課題解決の効果を上げやすいが、途中で転出入した子にとっては適応に時間がかかる可能性がある。



設問3⑦ 統合や小中一貫教育により、子供はより多くの教員と出会う機会が増えるが、一人あたりの先生と関わることのできる時間は減る。



<結果を受けて>

- 学校再編を考えるために必要な基本的な情報や知識の周知が不足している。
- 教育委員会の基本的な方針にも目が向けられるように、方策を講じる必要がある。
- 教育委員会からのお知らせに加え、学校からも学校だよりなどで発信していくべき。
- 統合の形態や時期については、検討委員会で議論した内容を周知し、地域で議論がされるよう促していく必要がある。

4 アンケート結果を見て、初倉地区小中学校再編方針検討委員会で出た意見

- ・ 今回のアンケートは、多くの保護者が統合への意識を持つきっかけになったと思います。
- ・ 将来小学校へ入学する子の保護者にも、関心事になっていくと思いますので、アンケートの意義はあったと思いました。
- ・ 一般的に言われるメリット・デメリットの他、「統合するとこんな学校になるよ」「初倉小と初倉南小の児童にとって、こんなに素晴らしいことがある」という、イメージしやすい環境面のメリットがあればと思います。
- ・ 市として保護者の皆さんに夢や可能性を見せられるようなものがあれば、前向きにとらえられるのでは、と思います。
- ・ 知っている内容でもメリットと認めたくない内容については、知っていると答えて良いのか悩み、回答するのが難しかったです。みんながどちらに捉えているのか不安です。
- ・ 中一ギャップや不登校に対しては、どのような対策をしていて、統合はその対策の一つであることを伝えないと、誤解を招くのではないかと心配します。
- ・ 統合や小中一貫校の主旨など、判断のベースとなる言葉の内容を理解することはとても大切だと思いました。
- ・ アンケートは質問の答えだけなので、検討委員会で話した内容を含めて、さらなる発信を続けていかなければ、保護者や地域の中で議論が深まっていかないのではと思いました。

お問い合わせは島田市教育委員会教育総務課へ

電話／0547-36-7952